

王立展示館とカールトン庭園

王立展示館は 1880 年にメルボルンで行われた万博博覧会のために建設されました。1888 年にはオーストラリア植民地生誕百周年記念国際博覧会という、ヨーロッパの植民地から解放されて 100 年を記念したイベントもここで開催されました。ヨーロッパのルネサンス様式、ビザンツ様式、ロマネスク様式など様々なヨーロッパの建築様式を組み合わせられて造られたオーストラリアでは初めてとなる西洋風の建築物です。設計者はジョセフ・リード。2004 年にはオーストラリア初の世界文化遺産に登録されました。

カールトン庭園は約 26 ヘクタールの広大な敷地があり、現在では庭園内にはテニスコートや大型映画館などの施設が併設されており、近代文化やスポーツが入り混じる空間となっています。また、1999 年公園内にメルボルン博物館が建設されました。庭園内では日本ではみられない様々な植物を鑑賞することができました。

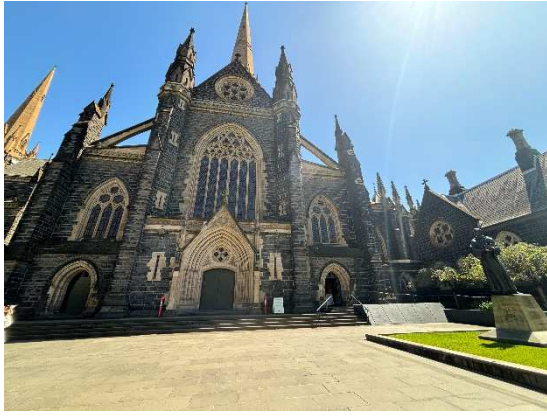
Australian Centre for Contemporary Art

オーストラリア現代美術センター（ACCA）は、オーストラリアのメルボルンにある現代アートギャラリーです。ACCA の建物はウッドマーシュによって設計され 2002 年に完成しました。4 つの大きなギャラリースペースで構成されています。

Habitat-Filter emerges in Melbourne arts precinct

通りの角の敷地をきれいにするために立ち上げたデザインコンペにより出現した作品。50 人以上の応募者から勝ち抜いたデザイナーはこの作品を「風景の中の彫刻」と表現していて、地面から突き出た 8 つの「ポッド」が特徴で主にリサイクル素材で作られています。

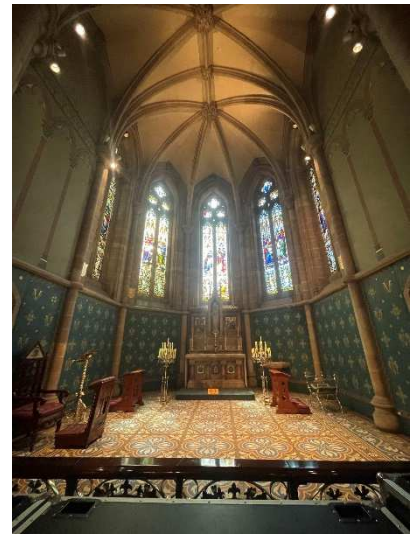
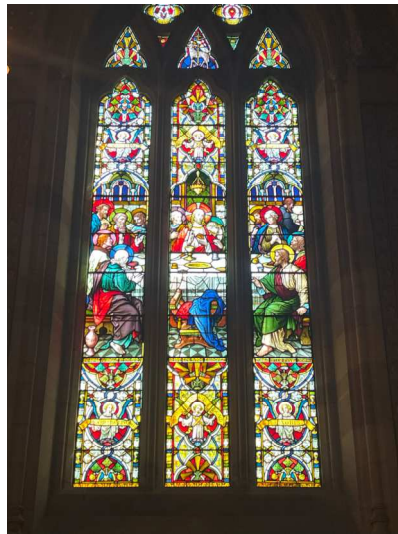
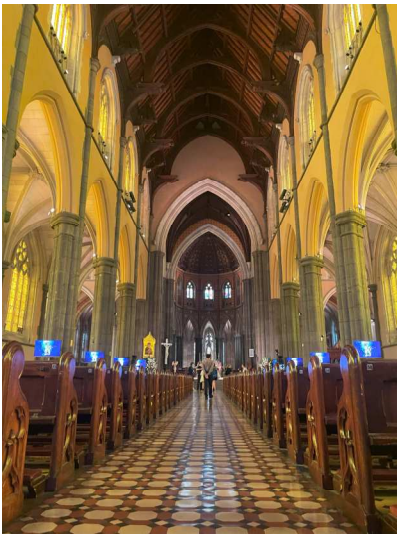




### セント・パトリック大聖堂

80年以上の歳月をかけて1939年に完成したローマ・カトリックのネオゴシック様式の大聖堂。オーストラリア最大のゴシック建築でもあります。ブルーストーンでつくられた外壁が美しい建物です。大聖堂にはシンボルともいえる高さ約103mの尖塔が3本あります。雨樋にはゴシック建築を代表する彫刻のガーゴイルもあります。聖堂内にはイギリスのバーミンガムから持ち込まれたステンドグラス、アーチ状の天井、モザイクの床、真鍮の装飾等、

高い天井に太陽の光を幻想的にとりこんだ明るい内部が特徴になっています。入った瞬間に息をのむほどの美しさでした。



### 旧メルボルン監獄

旧メルボルン監獄は1850年代に建てられました。メルボルンで最も古くから残る建物のひとつであり、一部を博物館として一般公開しています。130以上の拷問道具や絞首台、死刑囚のデスマスクなどを展示していて、犯罪と司法について考える体験ができます。オーストラリア犯罪史上に名を残すネッド・ケリーとギャング団の遺品もみることができます。

